



Web Fairy Paradise

第38号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第34回WFPフェアリー作品展 B (再掲)
- ・ 第35回WFPフェアリー作品展
- ・ 第47回推理将棋出題
- ・ Fairy of the Forest #28
- ・ 第11回詰四会フェアリー作品展

結果発表

- ・ 第34回WFPフェアリー作品展
- ・ JIGSAW BOX #06
- ・ 第46回推理将棋出題

読み物

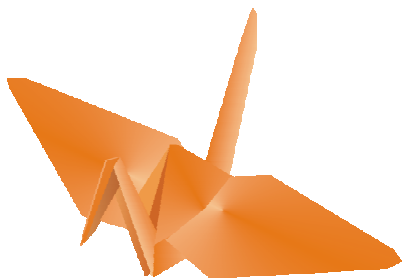
- ・ フェアリー百人一局集再考 (神無太郎)

がんばろう！日本



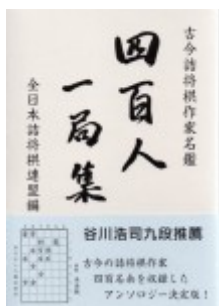
2011/8

はじめに



今年は作品集の発刊ラッシュです。フェアリーでは「新約・神話大全」が出ましたが、なかなか好評のようで、8月半ばで残り41冊とか、まだ持っていない方は早めに手に入れておいたほうがよさそうです。

普通詰将棋でも、谷川九段「月下推敲」、近藤郷「小さな絵」、詰将棋解答選手権 2011などが発刊されました。それと何と言っても「四百人一局集」が立派な装丁で出来上がりました。



私も一作載せていますが選んだ作品は普通詰将棋。やっぱりフェアリー作品にしとけばよかったなあと思ったのだが後の祭り。こうなったら「フェアリー40人一局集」(P34の太郎さんの論考をご覧ください)に是非とも参加するしかありません。ただ駄作はいっぱいあるが1作を選ぶとなったらこれは迷いますね。発刊までにこの1作という作品を創るのが最良の方法かもしれません。

それと平行して「森茂作品集」ももっと具体的に進めていかないとはいけません。来月号で大まかなスケジュールを発表できればと思っています。

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第38号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

* ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

第34回WFP作品展Bコース(再掲)

第35回WFP作品展 他

担当：神無七郎

まえがき & 今回の出題について



残暑お見舞い申し上げます

上は近くの桜並木で撮った蝉の写真。今ほどの木にも大量の蝉がとまっていて、まるで蝉の実がなったようです。暦の上では立秋が過ぎましたが、暑さはもう少し続くみたいですね。ここは涼を求める意味で、ちょっと先の晩秋、あるいは冬の話をしてしましましょう。

立冬（今年は11月8日）を少し過ぎた11月11日は数字がぞろ目になることから、記念日が多いのですが、その一つに「鮭の日」があります。十一十一を縦に書いていくと「圭」になるので、それに魚ヘンを付けた鮭を（ひいては水産物全般を）売り込もうという趣旨らしいです。

でも、ちょっと待ってください。詰棋人から見れば、「圭」に魚ヘンを付けるのは蛇足以外の何物でもありません。「圭」はそのままで成桂を表します。それに「圭」に木ヘンを付ければ「桂」になります（この日が木曜日だったらピッタリですね）。

というわけで、今年から11月11日は「桂の日」にしましましょう。この日には桂や成桂を主役にしたたり、八方桂絡みの駒やルールを使ったりして創作をするのです。桂を使った好作を改めて解いたり鑑賞したりするのもお勧めですね。指し将棋でも「桂が取れるときは必ず取らなければいけない」という変則ルールで指すと良いと思います。76歩 34歩 77桂 同角成 同角 33桂 同角成 同桂… などと桂を媒介にした派手な駒交換が楽しめそうです。

さて今回の作品展はたくぼんさんの個展です。前号に引き続き解答募集中の第34回WFP作品展Bコースと同時の解答募集になります。

また、第34回WFP作品展Aコースの34A-7が解答者ゼロという残念な結果になったので、少々異例ではありますが、再度解答を募集したいと思います。

出題数が多くて大変だとは思いますが、比較的易しい作品もありますので、解けた分だけでも解答を送ってください。

いずれも解答締切は来月15日です。

解答要項

解答締切：2011年9月15日（木）

宛先：janacek789@ybb.ne.jp

メールの件名に「解答」の語句を入れて下さい。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。（原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。）

宛先は解答と同じjanacek789@ybb.ne.jpへ。

メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。

ルール説明

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする

【スタイルメイト】

王手は掛かかっていないが合法手のない状態

【安北】

味方の駒が縦に並ぶと、下の駒の利きは上の駒の利きになる

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる

【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める

■ 35-3 たくぼん氏作

強欲協力詰 73手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
		ス	歩	と		銀			二
歩		歩	と	桂	と				三
歩	歩		と			銀	香		四
角								歩	五
				桂		歩		王	六
	歩	歩		歩	皇	香		歩	七
	ス	角	銀	飛	歩		歩	桂	八
飛	と		桂	香	銀	歩			九

持駒 なし

■ 35-4 たくぼん氏作

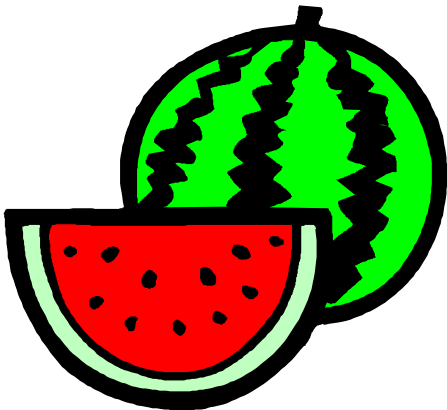
協力白玉詰 76手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								ス	二
									三
	銀								四
歩	歩	金	金	金					五
	王	歩	歩	歩					六
					歩				七
香	飛				香	銀			八
馬	王	桂			香				九

攻方持駒なし

受方持駒なし



推理将棋第47回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第47回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの? - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで2011年8月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メール の 題 名 は 「 推 理 将 棋 第 4 7 回 解 答 」 で お 願 い し ま す 。

推理将棋第47回出題 担当 DD++

今回は筋や段など着手の位置を条件にした問題の特集です。

初級と中級は、「はてるま手筋」でおなじみのはてるまさんから2題セットでいただきました。タイトルから狙いが分かりやすい問題2つです。そして上級はKGさんの、こちらはちょっと珍しい狙いの問題。手順や条件とは別のところにある、この問題の真の狙いとは、さて何でしょうか。

前回は難しかったので今回は簡単めの出題です。多数の速攻解答お待ちしております。

■練習問題

「さっきの将棋、▲26歩△24歩▲25歩△同歩▲同飛△62金まで見てたけどどうなった？」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの3手は分かるよね」

さて、残りの3手はどんな手だったでしょうか。

■本出題

47-1 初級 はてるまさん作

奇数筋だけ 7手

推理将棋最短の7手詰問題です。全手順のカンニングなしでどうぞ。

47-2 中級 はてるまさん作

偶数筋だけ 10手

初級と対のテーマの問題。攻めの選択肢は実はかなり狭いです。

47-3 上級 KGさん作

五段にならねば五段になれぬ 10手

この問題の「真の狙い」の予想解答もお待ちしております。

■締め切り前ヒント (8月16日 DD++)

初級：トドメは銀打ち。初手に7六歩としたくなるのは罠です。

中級：6筋から飛が先手陣に乗り込みます。8手目の不成がポイント。

上級：5九金と打って尻金の詰み。そのためには五段目の駒成はいつどこへ何を？

47-1 初級 はてるまさん作

奇数筋だけ 7手

「たった7手で詰んじゃった」

「奇数筋の手しかなかったね」

「2手目の玉がおかしかったかな」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 7手で詰んだ
- ・ 奇数筋の手のみ
- ・ 2手目は玉の手

47・2 中級 はてるまさん作
偶数筋だけ 10 手

「10 手で詰んじゃった」
「偶数筋の手しかなかったね」
「2 手目の歩がよかったかな」
「先後とも大駒を動かしたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 10 手で詰んだ
- ・ 偶数筋の手のみ
- ・ 2 手目は歩の手
- ・ 先後とも大駒を動かした

47・3 上級 KG さん作
五段にならねば五段になれぬ 10 手

「昨日のプロ対局は見物だったな」
「先手も後手も五段昇格がかかっていたからね」
「結果は 10 手で詰ませた後手が五段になったよね」
「俺それ見逃したんだ。どういう将棋だったか教えて」
「後手が五段になったんだ」
「それはさっき聞いた」
「いや、そうじゃなくて。後手が五段目に駒を成る手を指したんだ」
「あ、そういうことか。他に覚えていることは無いかな？」
「確か、不成の手が 4 回もあったよ」
「へえ」
「それから偶数筋への着手は 5 手目のみだったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 10 手で詰んだ
- ・ 後手が五段目に駒を成った
- ・ 不成が 4 回
- ・ 偶数筋への着手は 5 手目のみ

■練習問題解答

問題以下、▲ 22 飛成△ 52 金上▲ 31 龍まで。推理将棋では玉方が持ち駒を持っていないのが普通なので、飛び道具の玉手に合駒がなくて詰む「合い効かず」という形がよく現れます。この問題もその 1 つの形で、歩を持ってはいますが二歩のために 41 歩合とできません。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀		玉		龍	桂	香	
二		飛		金	金					
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	
四										
五										
六										
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	
八		角								
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 角銀歩

特に、今回のように龍は 1 枚だけでも敵玉を簡単に詰めることができ（単騎詰）、一段目（または九段目）の龍の横利きによる単騎詰を「はてるま手筋」といいます。そう、今回の初級中級出題者のはてるまさんが推理将棋黎明期に発見した手筋です。

龍単騎詰は最短 8 手でできる他、飛と馬と桂は最短 10 手、角と香は最短 11 手で単騎詰ができます。興味のある方はどんな手順なのかぜひ考えてみてください。

Fairy of the Forest#28 出題

■ 2011年05月18日：課題発表：（協力詰）最終手＝桂

■ 2011年08月15日：投稿締切

■ 2011年08月18日：出題

□ 2011年09月15日：解答締切

□ 2011年09月18日：結果発表

■ 出題

出題をひと月延ばしたのは、主に個人的理由からでした。つまり、拙作が全くできていなかったのです。約束したからにはと思ひ、何とか時間を設けて取り組んでみたのですが、結果はこの始末。習作とさえないものばかりで、お目にかけるのが恥ずかしいくらいです。

しかし、今回は作るだけで精一杯。初心者用として、あえて出題する次第です。出来が出来だけに、一族名での発表も躊躇されるところですが、普通作と区別する意味です。ご海容ください。

上述の事情もあって、今回の出題は軽作と力作とはっきり二分されてしまいました。せめて軽作だけでもご解答いただけたら幸いです。

なお、06は「受方持駒＝桂」にご注意を。また、07は命名とともに楽しみみてください。

（解答先）

→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

■ 28-01 神無八級 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					王				一
					科	飛			二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

■ 28-02 神無八級 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
							皇	皇	王	一
					飛					二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂3

■ 28-03 神無八級 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
							皇			一
							皇			二
							王			三
										四
										五
										六
							桂	皇		七
							香			八
										九

持駒 なし

■ 28-04 神無太郎 協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
							王	王		一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂3

第11回 詰四会フェアリー作品展

課題：大駒4枚使用（初形に拘らず）

第11回詰四会は初めて高知市で開催しました。ここ最近の参加メンバーのうち3名が高知市在住ということでまた新しいメンバーの参加を希望しての開催でしたが結局メンバーは変わらずでした（残念）。今回の課題に対して送られてきた作品は4作。これに私の客寄せ作を加えて計5作の出題です。難しい作品もありますので解答期間を2ヶ月にしております。

第1番は日記にも掲載しましたが客寄せ作が無いので緊急当番。第2番は先手王を打歩詰で詰ましてください。打歩以外で詰ますのは禁手です。これは後手玉に対しても適応しますのでその辺を考慮してお考え下さい。第3番は詰四会の席上で岩本さんが暗算で5分もかからずに正解をいれましたのでそんなに難しくはないでしょう。もちろん大駒4枚出てきますのでこれが大きなヒントです。第4番は2解合わせて大駒4枚使用となります。1解につき2枚です。第5番は超難解です。合駒で大駒4枚出ます。

【ルール】

ばか詰：先後協力して最短手数で、受方の玉を詰める

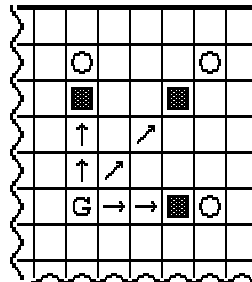
ばか自殺詰：先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

スタイルメイト：王手は掛かっていないが、合法手のない状態

打歩詰：打歩以外で詰ませる手を禁手とする（攻方、受方共）

対面：敵駒と向かい合うと、互いに利きが入れ替わる

グラスホッパー（G）：フェアリーチェスの駒。Q（クイーン：飛と角を合わせた性能）の線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



【解答締切】10月16日（日）

【解答宛先】takuji@dokidoki.ne.jp

■ 28-05 たくぼん 協力詰 47 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
角	銀	銀	金		銀	銀	金	角	五
歩	歩	香	香	歩	香	歩	歩	歩	六
					ス	糸		飛	七
				歩	王				八
王	王	ス			ス	ス		王	九

持駒 桂2香歩4

■ 28-06 神無七郎 協力詰 71 手（受方持駒＝桂）

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			金	香					四
			銀		王	王			五
			皇	桂	王		糸		六
			飛						七
			王						八
					王		ス		九

持駒 歩16

■ 28-07 小林看空 協力詰 79 手『風船虫』

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			飛	角	銀	銀	銀	銀	四
		桂	飛	歩	歩	歩	桂	歩	五
		金	香						六
		金	香			王			七
		金	香	ス			桂		八
		金	香		ス			角	九

持駒 桂

第1番 たくぼん作

ばか詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
		飛							三
									四
									五
									六
									七
			王	飛					八
角	角								九

持駒 なし

第2番 小林看空作

打歩ばか自殺詰 15手(受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						銀	銀	銀	二
				銀	金	桂	歩	歩	三
				金	桂				四
				香		王			五
				香					六
				金	香	王			七
				金	香				八
									九

持駒 飛2角2

第3番 神無太郎作

対面ばか自殺スタイルメイト 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						王			三
									四
						王			五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

第4番 神無太郎作

対面ばか自殺スタイルメイト 14手2解

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								歩	四
							王		五
									六
									七
									八
					王				九

持駒 桂4

第5番 神無太郎作

グラスホッパー王ばか自殺スタイルメイト 36手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						王			五
									六
						王			七
									八
									九

持駒 金銀桂3

第34回WFP作品展 Aコース結果

担当：神無七郎

前回の出題は神無太郎氏の個展。問題数が多かったため、AコースとBコースに分割しました。今回はAコースの方の結果をお届けします。

まずは今回の解答成績から。

〔解答成績〕（敬称略）○：正解 ー：無解

解答者名	1	2a	2b	3	4	5	6	7	計
たくぼん	○	○	○	○	○	○	○	ー	7
NAO	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	5
変寝夢	○	○	○	○	ー	○	ー	ー	5
小峰	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	4

今回の解答者は4名。Bコースの前倒し解答はなく、34A-7は解答者ゼロとなりました。せっかくの好作に解答がないのは惜しいので、今月の出題で改めて解答を募りたいと思います。

■ 34A-1 神無太郎氏作（正解4名）

対面協力自玉スタイルメイト4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									王	一
										二
						王				三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 柱

【ルール】

- ・ **協力自玉スタイルメイト**
先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする
- ・ **スタイルメイト**
王手は掛かっていないが合法手のない状態
- ・ **対面**
敵駒と向かい合うと互いに利きが入れ替わる

【解答】

45 桂 44 角 23 桂成 22 角 まで4手

(最終形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									王	一
									馬	二
							王	圭		三
					馬					四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

【解説】

本局はまずは小手調べ。スタイルメイトの重要な手筋を教えてくれる作品です。スタイルメイトは「手をなくす」のが目的ですから、その目的の達成のために次のような手段を使います。

1. 駒を消す
2. 駒の動きを止める
3. (双玉の場合) 包囲する

厳密に言えば3.は2.の変形です。玉は自分に王手が掛かってはいけない駒なので、その性質を利用して、包囲網を敷くことで実質的に玉の利きを止めるわけです。協力自玉系のスタイルメイトは双玉で出題されることが多いので、その場合3.はほぼ必須になります。

しかし、スタイルメイトにする手段はこの3つだけではありません。双玉の場合に使える特別な手段があります。

4. (双玉の場合) ピンをする

通常のルールでは「ピン」を実現するには、飛角香という「走る駒」の利きを使って、その利きを使って玉を人質にとり、間の駒を動かさなくする方法を使います。

ところが、性能変化ルールでは「ピン」を実現するのに必ずしも「走る駒」を使う必要はあ

りません。本局が示すように、金（この場合は成桂）でも「ピン」は実現できるのです。性能変化が解除されたとたん、王手が掛かるような形を作れば良いのですから、これは金以外の駒でも可能です。それが次の34A-2の主題になります。本局では23桂成に対する22角が玉の包囲と「ピン」による23成桂の固定に役立っています。

【短評】

変寝夢 さん

小品だがエレガント。
対面は比較的玉を詰ませやすいルールなのでスタイルメイトとセットにする方がまるやかな感じがでていいのかもしれない。

☆詰み易すぎるルールは自玉詰系に…というのは創作の「手筋」ですが、対面はそれでもまだ詰み易いので、自玉スタイルメイトにするというのは良いアイデアかもしれません。

小峰 さん

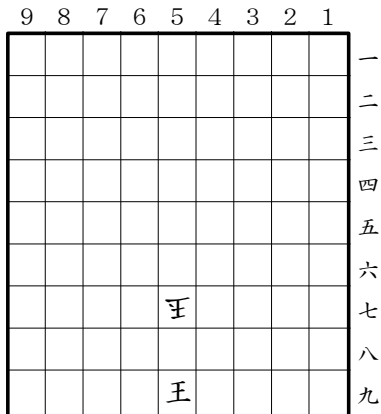
23に成桂を作るにはこれしかない。

たくぼん さん

一目では解けなかった。
持駒金なら2手でしたね。

■ 34A-2 神無太郎氏作（正解4名）

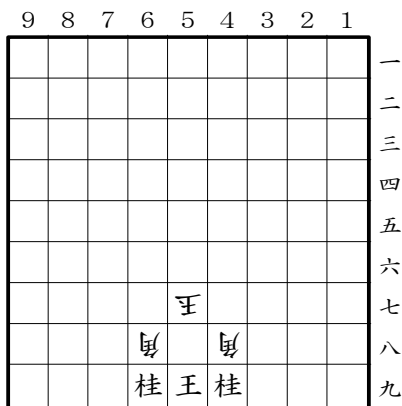
a) 対面協力自玉スタイルメイト4手



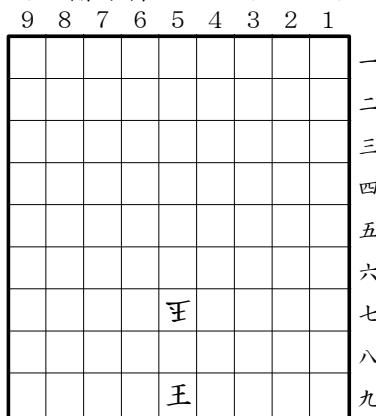
【解答】

49桂 48角 69桂 68角 まで4手

(最終形)



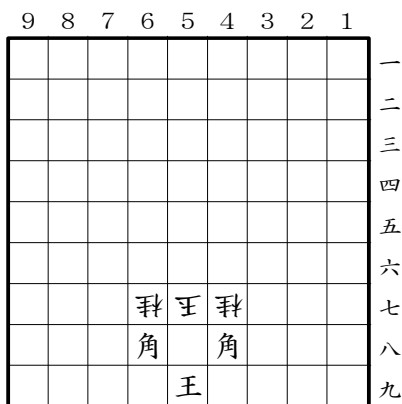
b) 対面協力自玉スタイルメイト4手



【解答】

48角 47桂 68角 67桂 まで4手

(最終形)



【解説】

ピンを主題とするスタイルメイトの組局。盤上の形は同じで持駒が異なります。そしてaは「角で桂をピンする」、bは「桂で角をピンする」手順です。また、aでは桂の「存在」が攻方王の動きを止め、bでは桂の「利き」が攻方王の動きを止めています。もしかしたらこれがこのツインの隠れた対比かもしれません。

本組局では「角に桂対」と「桂に角対」の双方が登場しますが、どちらも手筋として覚えてしまいましょう。特に「角に桂対」は対面の頻出手筋です。「桂に角対」も「桂に飛対」ほどではないにしろ、やはりよくある手筋です。

桂は対面で玉を詰ませるのに便利な駒なので、桂の絡む手筋は覚えておいて損はありません。

【短評】

変寝夢 さん

チャンバラで組み合う感じ。aとbでは攻守が入れ替わったよう。

小峰 さん

a)はこれしかないが、b)でうっかり初手39角から考え始めてしまった。

たくぼん さん

2つでセットの見事な対比。

☆前局による予習のおかげで、皆さんこちらは割と楽に解けたようですね。

☆神無太郎氏は参考図として、双方の玉が接近した形で、他の駒の組合せによる「ピン」の作例を送ってくれました。

以下の2図はそれぞれ「角で金をピンする」「角で飛をピンする」の例です。この2図は34A-2のように役割が入れ替わるわけではないですが、似た形でいろいろな「ピン」が実現できるのが面白いですね。他にもどんな組み合わせが実現可能か、皆さんも考えてみてください。

(参考図)

神無太郎氏作

対面ばか自殺スタイルメイト 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				王					一
									二
				王					三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2

43 金 42 角 63 金 62 角 まで 4手

神無太郎氏作

対面ばか自殺スタイルメイト 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				王					一
									二
				王					三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛2

43 飛 42 角 63 飛 62 角打 まで 4手

☆もう一つ補足をしておきます。34A-1の解説でスタイルメイトを実現する4つの手段を説明しましたが、実はもう一つ「包囲」や「ピン」と微妙に異なる手段があります。

5. (双玉の場合) 間接王手で移動を防ぐ

これも2.の変形で、利き先を直接塞ぐのではなく、移動すると逆王手が掛かるので結果的に移動できないという状態を作るわけです。文章で説明するより図を示す方が分かり易いと思うので、実際に例図を見て戴きましょう。

(参考図)

神無七郎作

対面協力自玉スタイルメイト2手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			桂	王	桂				一
		銀				銀			二
									三
									四
				王					五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

54 金 53 桂打 まで2手

(最終形)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			桂	王	桂				一
		銀				銀			二
				桂					三
				金					四
				王					五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

☆上の図では 54 金が 42 に移動しても 62 に移動しても自玉に王手が掛かります。この状態は他の駒でも作れるので、演出次第で面白い作品ができるかもしれません。

なお、今回の解説で紹介したスタイルメイトの手筋は系統だってもいませんし、網羅的でもありません。うまく整理・分類ができれば新手筋の発見や新作の創作に繋がると思いますので、どなたかもっと本格的な調査・分類をやってみませんか？

■ 34A-3 神無太郎氏作 (正解4名)

対面協力自玉スタイルメイト8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
						王			七
									八
								王	九

持駒 桂

【解答】

59 桂 58 飛 39 桂 38 飛成 59 桂 58 金
48 桂 同金 まで8手

(最終形)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
						王			七
						金	銀		八
								王	九

持駒 なし

【解説】

スタイルメイトでは桂は意外と厄介な駒です。他の駒なら玉に近付けて打てばすぐに取りてもらえますが、桂だと玉自身では取れません。

(逆に言えば駒詰等で玉の性能が大きければ一例えば「獅子」ならば一桂をすぐに玉で取り返すことが可能です。)

もう一つ厄介なのが、桂では合駒を要求できないこと。この2つの性質のせいで、スタイルメイトにおける桂は「お荷物」となりやすいのです。本局にもし「対面」の条件が付いていなければ、完全にお手上げです。

幸い、「対面」は合駒の代わりに「対駒」で新たな駒の発生が可能です。桂に飛対、桂に金対は個々には習いある筋ですが、本局は両者を一度に登場させ、飛を成らせるため桂を 39 ではなく 59 に打つというオイシイ限定打が入っています。また、双方の玉が不動のままスタイルメイトを実現しているのも面白いところ。双方不動玉のスタイルメイトというのは創作が適度に困難そうなので、この条件下での長手数記録に挑むのも面白そうです。

もう一つ、本局で攻方の着手が桂のみだったことも覚えておいてください。次局以降でこの趣向がはっきりと示されます。

【短評】

変寝夢 さん

最終3手に味がある。

小峰 さん

成らせが入った上に次の対駒が限定されているのがおいしい展開。

たくぼん さん

似たようなのを創った事があるのですぐ分かりましたが、龍を作って金合は面白い。

☆本局と同様の手順は別の形でも実現できません。作者もどちらが良いか迷ったと思いますが、貴方ならどちらの図を選びますか？

(参考図) ※解手順は省略

神無太郎氏作

対面ばか自殺スタイルメイト 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
								王		六
										七
										八
									王	九

持駒 桂

■ 34A-4 神無太郎氏作 (正解2名)

対面協力自玉スタイルメイト 10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
						王		王		四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 角

【解答】

66 角 65 飛 26 角 25 銀 17 角 16 飛
77 角 43 玉 33 角成 32 桂 まで 10手

(最終形)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
							桂			二
						王	馬			三
								王		四
				飛				銀		五
									飛	六
										七
										八
										九

持駒 なし

【解説】

双裸玉で2枚の玉の段や筋が同じ場合はたいいてい難問と相場が決まっています。飛で合駒を発生させて…というお決まりのパターンが使えない、あるいは使いにくいからです。実際本局も難問でした。

本局の初形は攻方王が盤の端から離れているので、まず思い浮かぶのは「17 角 16 飛」の筋だと思えます。以下も「77 角 43 玉 33 角成 32 桂」と順調に手が進み、ほとんどスタイルメイトに近い局面に辿り着きます。

(参考図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						科			二
					王	馬			三
							王		四
									五
								飛	六
									七
									八
									九

持駒なし

この手順で費やした手数は6手。残りの退路は25と35のたった2箇所です。ですから「17角 16飛」の開始はかなり有望に見えます。

ところが、ここからはいくら頑張ってもスタイルメイトを達成することができません。工夫すべきは「17角 16飛」の後ではなく、前なのです。答えが分かった後で見れば意味が分かりますが、初手66角は一見何の意味もない中途半端な場所に打つ手に見えるので、第一感でこれを思い付く人はまずいないでしょう。

作意の初手から「66角 65飛 26角 25銀」と続く4手は、それ全体が伏線手であり、10手という比較的短い手数で40%を費やす、高コストな伏線です。双裸玉の条件下でこういう手順はなかなか入るものではありません。

そして、改めて手順を見ると、攻方の着手はすべて角。実に華麗な角の舞でした。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

2六角、2五銀、1七角、1六飛以下34同銀の筋と1七角、1六飛、7七角以下3三角成、3二桂の筋を追かけたがダメでした。無念。

☆変寝夢さんは大変惜しいところまで行っていたのですね。17角の前に2手費やすところまで到達しています。後2手余分に費やす勇気があれば作意に辿り着いたはずですが、その「あと一步」の困難さが窺えます。

たくぼんさん

初手17角から読んで首を捻る。初手がいい手でした。

☆本局の正解者はたくぼんさんとNAOさんのお二人。お見事でした。

■ 34A-5 神無太郎氏作 (正解2名)

対面協力自玉スタイルメイト 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								王	二
									三
								王	四
									五
									六
									七
								飛	八
									九

持駒なし

【解答】

28飛 27角 55飛 54角成 45飛 44角
27飛 26桂 15飛 14桂 まで10手

(最終形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
								王	二	
						銀	馬		科	三
								王	飛	四
								科		五
										六
										七
										八
										九

持駒なし

【解説】

前々局が「桂の舞」。前局が「角の舞」ときたので、今度は「飛の舞」です。しかし、この初形を見ただけでそれを予想することはできな

いでしょう。

本局でまず考えられる有力な筋は「45 飛 35 合 同飛 34 角」という「ピン」の手筋を使うことです。実際、もし 12 手でも良いのなら次のような手順があります。

45 飛 35 飛 同飛 16 玉 12 飛 11 金
13 飛生 12 角 36 飛 25 玉 35 飛 34 角
まで

2つの「飛に角対」が出てきて何だか格好良いですが、いかんせん手数がこれ以上縮まりません。

ならば飛を縦に使う紛れを諦め、飛を横に使ってみましょう。しばらく考えると次のような有力な筋が見えてくると思います。

28 飛 27 合 同飛 26 桂 14 飛 13 桂 …

飛を桂に変身させることで無力化し（攻方王が飛の跳び先の封鎖に役立ってますね）、更に攻方王の逃げ道も狭まりました。後は合駒を使って逃げ道を封鎖すれば…というところですが、これもうまくいきません。

実は本局も 34A-4 と同様、後から頑張るのではなく、先に伏線的な手順を消化しておく必要があるのです。それが作意の「28 飛 27 角 55 飛 54 角成 45 飛 44 角」の6手。これは 21・31・32 の逃げ道をあらかじめ封鎖すると同時に、飛を 27 の好位置に戻すことのできる一石二鳥の手段です。「対面」の効果により、角対を直接取ることができないという性質を上手く利用した迂回の強制とも言えるでしょう。

34A-3～34A-5 の3作は、どれも攻方の着手が種類に限定されており、（作者自身はそう明言していませんが）一種のシリーズ物と言えるでしょう。48 飛が持駒にできないのが惜しいですが、トリを飾るのにふさわしい好作です。

【短評】

変寝夢 さん

初手が広くもうダメかと思った。俺だったらこうしたいよな、と追っかけたら解けた。9 八飛だったらすんなりだったかな (^o^)

たくぼん さん

飛を持駒に出来なかったのは残念だが、こんな好手順なのだからそんなに虫の良い事はありませんね。

馬を作って 45 飛と寄る味が抜群。

☆本局の正解者は変寝夢さんとたくぼんさんのお二人。特に変寝夢さんはヤマが上手く当たったみたいですね。解図には幸運も必要です。

■ 34A-6 神無太郎氏作（正解 1 名！）

対面協力自玉スタイルメイト 12 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
				王					二
									三
			王						四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

【解答】

53 金 52 飛 同金 51 桂 45 飛 44 桂 33 飛成 52 玉 63 龍 62 飛 43 龍 同桂 まで 12 手

（最終形）

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
			飛	王					二
					桂				三
			王	桂					四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

自玉スタイルメイトが難解作となるのは、最終形が想定しがたいとき。それに次いで「持駒を増やす」手や「攻方の駒を取らない」手が入っているときです。そして本局にはそんな難解作の要素が全部詰まっています。

例えば最初の4手。手が途切れそうなところなので、「53金 52飛 同金」まではやれないこともないでしょう。でも、持駒を増やすのは抵抗感がありますし、同じような手なら「33金 32飛 同金」から入りたくありません。（以下51玉 42金 41飛…のような筋がちらつきますよね？）

そして極めつけの難手が4手目51桂。ここは同玉として金を消したいところですし、51桂は一見何の役にも立ちそうにありません。

51桂が役に立つことに気付くには次の「45飛 44桂」の筋に気付く必要があります。玉の側面を封鎖するのは飛や香といった縦に走る駒を使うのが常道ですが、桂の並びで飛や香の代わりにできるというのは驚くべき発見です。

「対面」では桂の頭は丸くない——このことを改めて強く印象付けてくれる傑作です。

【短評】

変寝夢 さん（※無解）

これだけ広いと先手玉の逃げ場をどう押さえるかすら分からない

たくぼん さん

3手目に気付くまでにかかなりの時間、45飛、44桂の手順に至るまでかなりの時間。これは超傑作。

☆これを正解したたくぼんさんの解図力には脱帽あるのみ。棋力と根性の両方がないと本局を解くのは無理でしょう。盛大に拍手を！

■ 34A-7 神無太郎氏作（正解者なし）

（解答者ゼロのため再出題します）

【総評等】

変寝夢 さん

A-4が解けなかったのは残念だが、自分としてはよくやった方です。

対面は好きなジャンルなので楽しかったです。

ちなみに苦手はキルケと安南です。

小峰 さん

私がフェアリーを始めた直後の2006年は、故・森茂さんの作品の解図に熱中したりして、それが解図力の向上に繋がっていたように思うのですが、残念ながら新たな森作品に接する機会が絶たれた頃を境に、解図力の進歩が止まったというより退化に転じました。最近では低空飛行が常態化していますが、解答提出をサボっていると衰退過程が余分に促進されるようなので（笑）、今月も宜しく願います。

NAO さん

早々と3番まで解けて安心していたら、気がついたら締め切りでした。

変身ルールの10手以上は難しいですね。

5、6、7もう一息ですが、降参です。

たくぼん さん

太郎さんのスタイルメイト特集楽しませていただきました。レベル高い内容で素晴らしい。34A-7はもう一ヶ月欲しい所でした。

☆皆さん大苦戦でしたが、このような声もありますので、34A-7は再出題でもう一度解答を募りたいと思います。ただ、そのしわ寄せが次回以降に来るのが怖いので、これはあくまで今回のみの特例措置としたいと思います。

以上

JIGSAW BOX #06 解答発表

☆今年7月に発売された『四百人一局集』。労作だとは思いましたが、私が「好きな作家」として名前を挙げさせて頂いた御三方（森茂さん、もずさん、真Tさん）が、誰一人として収録されていなかったのはちょっと残念でした。特に森茂さんはフェアリーのみならず普通詰将棋でも大きな功績があり、収録して欲しかった。

☆同じく今年発刊された『新約・神詰大全』には、上記3氏の作品が収録されているのみならず、1人当たりのページ数も『四百人一局集』より多く、断然読み応えがあります。『新約・神詰大全』を未読または未購入の方には、通読と購入を是非ともお勧めします。

小峰耕希

06-01 市橋宗士 普通詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								飛	一
									二
			馬		王	卒	卒		三
							龍		四
								歩	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛金

43飛 22玉 42飛成 32金 同龍 同玉
43金 22玉 31馬 同玉 32金打 まで 11手

作者一初めて応募します、どうぞよろしく。条件より「馬」が1枚多い、準握りです。合駒の基本手筋?で、4手目飛金以外は3一竜以下の詰み。出発原図は馬捨てからの3手詰め図です。今はこんな簡単なものしか作れません。PC未検討です、ご免なさい。アマ連の「握り詰め」応募も考えていましたが、間にあいませんでした。

☆ということで、今年のトップバッターは新人・市橋さんにご登場頂きました。こちらこ

そご応募感謝致します。

変寝夢一3手目3二金の紛れが命。

☆金捨てもよく見る手筋ですが、この場合は4手目12玉とかわされると手が続きません。マニアにとってはお馴染みの展開ではありますが、金の限定合から最後は馬捨て～頭金までとまとまっています。

たくぼん一美しい実戦型に限定合が出るのですから新人なら及第点。

神無七郎一もう少し変化・紛れが欲しい所ですが、合駒で得た駒をとどめに使う構成はストーリー性があると思いません。±1枚卒で「馬」を使ったのは結構大胆かも。

雲海一見たことある手順だけれど、仕方が無いところでもありますね。

☆探せば多分同一手順の前例があると思いますが、幸い同一配置の作品は無い様子でした。占魚亭一大駒が消えてまずまず。桂はなくても問題ないですよ。

☆21桂ですね。これが出題時に言った「大らかに見て欲しい」配置で、省いても完全作なのですが、8手目を限定したと一応こじつけられなくもないので、諸事情を勘案し今回は出題可としました。

☆ところで、市橋さんに対しては次のようなリクエストが複数。

雲海一次回作は是非フェアリーで(笑)

たくぼん一新人さんの参加は嬉しい限り。今度はフェアリー作品でお願いしたいですね。

06-02 神無太郎 普通詰 27手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								飛	一
									二
									三
							と		四
						桂	龍		五
							王		六
							歩		七
							足		八
							金		九

持駒 歩

15と 同玉 26銀 16玉 17歩 同杏
 同銀 同玉 19香 27玉 38金 26玉
 37金 25玉 36金 24玉 35金 23玉
 34金 22玉 33飛成 21玉 12香成 同玉
 23金 21玉 22金 まで 27手

作者—また普通の詰将棋を投稿します。実は、駒を間違えて（+香で）、アマレン杯向けに作っていたものです。

☆なんていう裏話付きの本局ですが、内容を特徴付ければ、

神無七郎—後ろ17手は、もし「握り詰対策素材辞典」があったら「指定駒に飛金香があった場合」の項に必ず載る素材。それだけに序にもう一工夫が欲しかったところです。この駒数では工夫をするのも難しそうですが…。

☆です（省エネ解説）。

市橋宗士—解答応募も初めてになります。普通詰めしかよくわからないのでずっと考えていたらヒントの手数と一緒にだったのでたぶん大丈夫でしょう。九手目の香打ちがなかなか見えず初手で飛成り等もいろいろ読んだんですが。金がエレベーターのようにスルスルと玉を追い上げて、そして止めの香成捨て。3筋までに限定されているとはいえこんな長手数を詰ませたのは初めて。時間がかかりましたよ。でも、この簡素な駒数で、香による「技」を見せて頂きました。（あとは正解であることを祈るのみ）

☆正解。

変寝夢—何故か10手目の変化の1八合でバカ受け。合いを取った後の金が、無駄合を証明するために一生懸命3五の地点に戻ろうとしているように見えたからなんだろう。

☆私も10手目歩合の変化に頭を悩ませてしまいましたが、以下18同金～17金～26金と自然に進めてみると、実は後手玉は全然延命されておらず、同手数駒余りになります。

雲海—ミニ煙ですが、それ以外評し難いです。たくぼん—お見事煙りました。趣向も入りいいんじゃないでしょうか。

占魚亭—きれいに捌けて爽快。

06-03 小峰耕希

キルケ打歩協力詰 6手 (受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				マ	馬				四
									五
					王			王	六
									七
							香		八
									九

持駒 飛金歩

29歩成 44飛 同と /28飛 56金 35玉 36歩
 まで 6手

たくぼん—24辺りに飛を打ちたいのですが手数
 が足りません。2筋に飛配置のためには・・・というわけで初手がうまい。

☆初手他の手を指すと、3手目44同とのときに
 飛が28に復元できず不詰になります。

神無七郎—持駒に飛があるので初手は一目。握
 り詰でなければ、むしろ44を埋める駒の発
 生を主題にするところでしょうか？ 打歩
 ルールは、打歩詰の予防や打開の手筋の
 「裏」が成立するはずなので、その気にな
 ればネタには困らなさそうですね。握り詰
 にも向いているかも。

雲海—5手の作品に使用駒の条件を満たすため
 に6手にしました、という印象でした。
 5手からの逆算を少し考えてみましたが、
 意義のある逆算が思いつかなかった
 です。

☆実に仰る通りで、「使用駒の条件を満たすた
 めに6手にしました」。独自性が無き過ぎる
 ので出題するか迷ったのですが、他に候補作
 も無くてやむなく…。

占魚亭—初手の発見にてござりました。

変寝夢—今回はこれが解けて良かった。詰め上
 がり予測がはずれたら相当厳しいなあこの
 ルール。

☆伝統ルール2題と併せて一定の集客効果を発
 揮した様子なのが唯一の慰めです。

06-04 たくぼん 協力自玉詰 22手

									王	王
			金			と			王	王
			銀			王	飛			
				歩		歩				

持駒 なし

25飛 16玉 26飛 17玉 16飛 28玉
 26飛 27飛 同飛 38玉 98飛 88銀
 同飛 78角 47銀 49玉 89飛 69角打
 58銀 38玉 47銀 同角成 まで 22手

									王	王
			金			と				
			銀			王				
				歩	歩	歩	飛			
		王				王				
	飛									

持駒 なし

第22手目 同角成 まで

☆本作品展では前々回・前回と続けて雲海さんが飛の遠打が入った作品を披露して下さいましたが、今年はこの人が！

作者一雲海さんには遠く及ばないが難しさが無いのがたくぼん流です。

☆実際これを超難解作とは言わないと思いますが、「最短」を目指す協力系の作品で、収束の銀の往復運動ような曲線的な手順が入ると、却って解答者は苦勞する事もあります。

変寝夢一頭4手が自動セットなのでいけるかと思っただが、全然ダメ。

神無七郎一昨年、一昨年の雲海氏作を連想させ

る飛の最遠打。8手目角合の紛れが強力な上(24手で詰む複数の筋がある)、飛合の後も1筋に行きたくなるので、本筋になかなか入れませんでした。一見冗長な銀の往復が入るこの手順が最短だったというのは意外です。

☆本局のメインである11手目以降の手の意味を描写してみると、こんな所でしょうか。

- 1) 角を78に発生させる必要がある(45への王の逃道を絶つため)ので、11手目の飛の打ち場所は88以遠でなければならない。
- 2) 但し、12~13手目の応酬で攻方が合駒を1枚入手する必要があるので、結局11手目は98に打つしかない。
- 3) 12手目の合駒は後に47→58→47と活用したいので、角か銀しかないのだが、角2枚のうち1枚は既に78に使用済みであり、もう1枚も最後47角成迄で詰上げる際に必要なので、12手目88銀合で確定。

☆最後に「先輩」雲海さんの短評を。

雲海一遠打！ですが、あまり驚かず、むしろ予想通りと感じたのはビョーキだなあ。そう感じる方が他にもいたら自分のせいですね…。あと細かいかもしれませんが、65金→35金、35と→65歩としても大丈夫ですので、成駒がないこちらが好みです。

06-05 神無七郎

対面取禁協力詰 47手

									王	王
									王	王

持駒 なし

57桂 54玉 65桂 43玉 55桂 32玉
 43桂生 22玉 34桂生 33飛 14桂 13角
 32桂生 23玉 22桂生 34玉 26桂生 25龍
 46桂 45龍 26桂 23玉 14桂 24玉
 36桂 35龍 16桂 15角 34桂 25玉
 14桂 16玉 36桂 26銀 27桂 25玉

16桂 36玉 27桂 47玉 36桂 38玉
27桂 49玉 16桂 48玉 49桂 まで 47手

☆出題時にも触れたように、七郎さんが最近連続して発表なさった対面取禁協力詰「攻方の駒は持駒桂1枚のみ」シリーズ(詳しい解説はWFP第35号掲載のWFP作品展結果稿をお読み下さい)の握り詰ヴァージョンです。

☆どの作品も、頭桂という対面ルールの最も基本的な詰め筋を利用していましたが、WFP作品展の時には「ジャンプ先を埋める駒の枚数が0~2枚」という3作1セットの趣向作になっていました。で、本局は…と文章で説明してもくどくなりますので、まずは詰上り図を見て頂きましょう。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						香			一
					香				二
						進		馬	三
			ス						四
						銀		馬	五
							香		六
						香			七
					王				八
					桂				九

持駒なし

第47手目 49桂 まで

☆詰上りで「ジャンプ先を埋める駒」は0枚なのですが、代わりに途中で対駒が4回(33飛、13角、15角、26銀)盤上に発生し、これは過去3作と比較して最多です。ただ作者の最大の狙いはそこではなく、桂の軌道の方にありました。

作者—WFP34号の出題で使ったネタの応用の一つで、還元桂が狙いです。指定枚数そのままでも可能ですが、手順の無駄を省くため-1枚枰を使用しました。

☆対駒の意味付け自体は作意手順をみてしまえば割合容易に理解されると思うのですが、手が限られているの序・収束とは対照的に、目指すべき方向がはっきりしない中盤で挫折した解答者が多かったと思われま

す。変寝夢—5七桂~4三桂~2二桂~2六桂以下なのかな。頭桂ってわかってても難しいね。

雲海—うーん、解けず。最近解図力が衰えがひ

どいです。

☆結果論としていえば、大駒4枚を1枰おきに並べる(33飛、13角、35龍、15角)構想が秀逸。21龍はいつ頃に35へは移動出来ないため、21→25→45→35というやや複雑な経路を辿ります。また15角は最後の16桂→49桂の跳躍を実現する大切なポジションです。

☆そして唯一の正解者はまたしてもたくぼんさん!

たくぼん—WFPではノックアウトを食らいましたので、頑張りました。大分感覚を掴んできました。序は意外とすんなり進みましたが中盤で試行錯誤が続き、銀合からの収束が見えて道が開けました。詰上ると見事な還元桂にびっくり。握り詰めでこの完成度は恐れ入りました。

【総評など】

神無七郎—久しぶりに普通詰将棋への解答を出すことになりました。まあ、たまには気分転換になって良いですね。今回は最初の3問がすぐに解けたので、この勢いで一気に…と思ったのですが、たくぼんさんの作品で苦戦してしまいました。やはり簡単には行きませんね。

☆本作品展は七郎さんに普通詰将棋を解いて貰える数少ないチャンスですので、来年以降も伝統ルール派の皆様もどしどしご応募下さい(え

変寝夢—フェアリーの握り詰っていうのもルールの設定から個性が出ていて面白いですね。

☆今回はJIGSAW BOX非常連の方の参加が多く助かりました。今後とも宜しくお願いします。

占魚亭—1日遅れてしまいましたが(すみません)、「JIGSAW BOX #06」の解答です。

☆数年前までは自分が担当のときは締め切りを厳格に管理していたのですが、最近は数日の遅れは気にしなくなりました。ご安心を。

雲海—一本当は1作出来ていたのですが、面白くなかったので投稿を断念しました。枯れ木も山の賑わい、ということで投稿した方がよかったですでしょうか……。

☆私の場合は、担当者でありながら何も出品しないというのもそれはそれで結構心痛の種なので、相当な駄作でも安易に出題してしまったりするのですが、そうでもないなら自らのポリシーには逆らわないのが一番です。無理せず気長に行きましょう。

たくぼん—担当氏の作品ももっとお願いしま

す。
☆担当氏は……もうちょっと無理をした方が良くいかも知れません。

- 【解答成績】（全6通、敬称略）
【全題正解】神無七郎 たくぼん
【4題】雲海
【3題】変寝夢 占魚亭
【2題】市橋宗士

第2回フェアリー短編 コンクール 作品募集 要項

投稿締切：2011年12月4日（日）
出題開始：12月20日（火）＜WFP第42号掲載＞
解答締切：2012年1月29日（日）
結果発表：2月20日（月）＜WFP第44号掲載＞
手数・ルール：6手以内のフェアリー作品。
出品数：1人2作以内。
出題方法など：作者名は伏せた上で全局一斉出題。評価点の平均で作品の順位を決定する。
不完全作は失格（自動最下位）。
評価方法：ABCの3段階評価。A＝3点、B＝2点、C＝1点、誤解＝3点、無解＝計数除外。
作品審査：基本的に無審査としますが、fm検討の環境がない方の作品検討には協力します。
投稿先：（jigsawbox@gmail.com）

（ブログ
<http://fourth-of-may.cocolog-nifty.com/blog/> にメール送信フォームを設置予定）

☆前回（2年前）との相違は、1）手数が6手以内（前回は7手以内）、2）フェアリーなら全ルール可（前回は協力詰系のみ）の2点です。その他は第1回のルールを踏襲しますが、不明な点については遠慮なくお問い合わせ下さい。

小峰耕希

推理将棋第 46 回 出題

出題日 : 2011 年 7 月 3 日
 解答締切 : 2011 年 7 月 20 日

推理将棋第 46 回解説 担当 DD++

やはり今回は上級が難題だったようで、中間ヒント前の解答者は上級の作者のみという異常事態でした。それでも解答者が 20 名を突破したのは、上級が解けなくても 2 題解答してくださった方が多数いたおかげです。本当にありがとうございます。

46-1 初級 けいたんさん作 馬の手は角成の手にあらず 9 手

「さっきの将棋 9 手で詰んだんだって！
 13 馬の手には驚いたよ」

「それより 22 に角を打った手だよ。酔理将棋っていうのかな。だいぶお酒が入ってたみたい」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 9 手で詰んだ
- ・ 13 馬の手あり
- ・ 22 に角打ちあり

※13 角成では「13 馬の手」になりませんのでご注意ください。

出題のことば (担当 DD++)

注意書きとしてタイトルをご覧ください
 (笑)

追加ヒント：

22 に打った角を 13 に成っても「13 馬」になりません。ということはどういうこと？
 41 玉の逃げ道を塞ぐには後手金 2 枚を利用

するのが便利です。

推理将棋 46-1 解答

▲7 六歩 △3 四歩 ▲2 二角成 △5 二金
 左 ▲1 三馬 △4 一玉 ▲2 二角 △5 一金寄
 ▲3 一角成 まで 9 手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	馬		王	王	馬	科	皇	一
	飛			王					二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	馬	三
						歩			四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 銀歩

条件を見ると 22 に角を打ってそれを 13 に成りたくなりますが、それでは「13 角成」になってしまつて「13 馬」になりません。そんなうまい手はなかったようです。しかし、いいことがわかりました。打った角を成つてはダメということは 13 馬の手を指した駒と 22 に打たれた角は別の駒ということ。

都合よく、「13 馬」を指すためには「76 歩～22 角成～13 馬」と途中で角を取ることになります。トドメに 22 への角打ちで詰ますのは大変そうですからこの角打ちはきっと 7 手目でしょう。となればトドメは 31 角成が順当そうです。

では後手の指し手は何でしょう？まず先手に 22 角成を指してもらうために、2 手目は 34 歩が必要です。そして残るは 3 手。その中に、31 角成を王手にするために 41 玉あるいは 42 玉と動く手が必要です。

残る 2 手での仕事は逃げ道塞ぎ。42 玉だと

3箇所塞がなければいけないので手数が足りないのに対し、41玉なら2箇所なので手数が足りる。最初に52金左と1つめの逃げ道を塞ぎつつ41を空け、41玉と寄ってから51金寄と玉突きの駒を動かして逃げ道を塞ぎ、お仕事完了です。

それではみなさんの短評をどうぞ。

はなさかしろう 「この手数ですと13馬も22の角打ちも先手の手とわかります。問題は後手の組み立て方ですが、4手目△42玉に惹かれるところをぐっと我慢、ですね。」

■玉の4筋移動を焦るとどこか1マス逃げ道が塞ぎきれません。

斧間徳子 「どっかで見たことのある手順と思って調べたら、2年前のおもちゃ箱の渡辺作(#20-2)に類作がありました。もちろん、本作は手順も条件も異なるので新作だと思います。」

■以前宣言した通り、詰め上がりや手順が同じでも条件が別なら私は平気で採用していきますので。しかしよく20-2を見つけましたね。

鈴川優希 「1三の馬と2二の角が利いているのは3一の地点、と考えて解決。2枚金の動きは45-2で学習済みでした。」

■前回もこの2枚金の動きはあったので出題をどうしようかちょっと迷ったのですが、初級なら逆にそれでいいかな、と。

KG 「後手の2枚の金と玉の動きが一意に定まるのがいいですね」

■この2枚金の形は玉方の手順前後が生じないのできれいな問題が作りやすいですね。

NAO 「こまったときの52金左。」

■41玉なら52金左、42玉なら52金右ですよ。

リーグ戦ファン 「先手は13馬+22角打+31角成までに決まっています、残るは後手の圏

いを考えるだけ。トップバッターにふさわしい易しい良問。」

■これでこそ初級。

チャンプ 「条件が親切で誰かさんと違って解いてもらおう感が滲み出てますね(苦笑)ただ、この書き方だと解答者の中に角打ちありが(棋譜上▲22角打)と間違わないか少し心配。『22に角を打つ手があった』ぐらいが妥当だったか?」

■確かに。これは担当が気づくべきところでした。御指摘ありがとうございます。

変寝夢 「33玉型ばかり考えていた。後手の手順が限定されているのにビックリ」

■9手で33玉型は可能ですが13ではなく31馬が必要になりますね。

たくぼん 「なんだか懐かしい香りのする作品。素直なところがいいですね」

■ひねくれたらそれはもう初級じゃないですから。

みや 「13の馬でヒモをつけるには・・・と考えて、後手が玉の退路を封鎖して、31角成まで。ヒント通りに解きましたよ。」

■ヒントを活用していただいてありがとうございます。

渡辺 「同じ形を作ったことがあるだけに瞬殺でした。」

■渡辺さんに瞬殺できない9手詰めは果たしてあるのでしょうか。

ティエムガンバ 「感想：手筋としては普通でしたが一瞬、1三馬と2二角のどちらかが後手の着手では?と思いました(9手という時点でその考え方は外すべきでしたが)。」

■9手という点でもそうですが、初級でそんなヒッカケしませんって(笑)

S.Kimura 「22角成から13馬は分かりやすかったので、ノーヒントで解けました。」

■何度も解答をいただいている方がヒントを要するようでは初級になりませんって。

井上順一 「あまり考えずに22角成から13馬22角とやったら、詰上がりが見えた。」

■初級ですからそれくらいさっくり解いていただかないと。

宮谷保可楽 「問題文を読んだときのイメージ、ほぼそのままの手順。」

■なんせ初級ですから。

中村雅哉 「これは方針が立てやすくトップバッター向き」

■そりゃもちろん初級ですから。

隅の老人B 「馬を引く手に好手あり。金だったかな？まあ良いや。」

■馬や金に限らず駒を引く手は推理将棋ではあまり見ませんよね。全く見ないというほどではないですが。

占魚亭 「金の壁を作ることに気づくまで、少し時間がかかりました。」

■2枚金の壁は41玉を詰める時の手筋です。

はてるま 「親切設計の肩慣らし問題。」

■初級ですからそれくらいでないと。

タラパパ 「先手の全着手が示されているような分かり易さがいい。さすが初級問題。」

■前担当者としてもこういう問題は欲しかったのでは？（笑）

はらたつと 「13馬も22角も先手の手ならこれしかないか。」

■その通りです。そしてそれらが後手なんて

ヒッカケは初級ではやりませんし。

正解：21名

井上順一さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん KGさん 鈴川優希さん 隅の老人Bさん 占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん チャンプさん テイエムガンバさん NAOさん 中村雅哉さん はてるまさん はなさかしろうさん はらたつとさん 変寝夢さん みやさん 宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

46-2 中級 DD++作

鯨飲馬食

11手

「この11手で詰んだ将棋おもしろいな」
「初期位置のままの歩を馬が5枚も食ったのか」

「鯨飲馬食とはよく言ったものだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 初期位置のままの歩を取る馬の手が5回あった

※「馬の手」ですので、角成で歩を取ってもカウントには含みません。

出題のことば (担当 DD++)

タイトルどおり馬で歩をパクパク食べまくってください。

追加ヒント：

歩を取る馬の手5回の内訳は、5、8、9、10、11手目。7手目に飛車の妙手炸裂！

▲ 7 六歩 ♽ 6 二玉 ▲ 3 三角成 ♽ 7 二玉
 ▲ 4 三馬 ♽ 7 七角成 ▲ 6 八飛 ♽ 6 七馬
 ▲ 5 三馬 ♽ 5 七馬 ▲ 6 三馬 まで 11 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	
二		飛	玉							
三	歩	歩	歩	馬				歩	歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩			金	歩	歩	歩	歩	
八				飛						
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩4

馬の手の最短は5手目なので、馬で歩を取るのを先手だけでがんばっても5手目、7手目、9手目、11手目の4回が限度です。つまり、5回目を実現するためには後手も馬で歩を取る手が必要ということ。しかし、手数を数えると、角道をあける手が最低1回、角成が先手と後手で1回ずつ、馬で歩を取る手が先後あわせて5回で、ただ条件を満たすだけで計8手必要。残りたった3手しかありません。

しかも、後手の角成は77角成なら余計な王手に困ってしまい、88角成なら取れる歩が8筋9筋に限られて、詰みには何の役にも立ちそうにありません。かといって、途中で曲がって17角成や57角成を狙うのも手数を無駄に使うだけ。こんな調子で本当に詰むのでしょうか。

手がかりが全くなく絶望的なように思えますが、推理将棋でしばしば出てくる考え方がここで役に立ちます。それは、単騎詰でもない限り攻め駒は2枚以上必要、つまり、1枚は馬として、最低もう1枚どこかから攻め駒を調達しなければならぬということです。しかしながら歩以外の駒を取って打つ余裕はなく、歩を打つのもこの場合戦力になりません。

そのもう1枚の調達方法の答えは、最初に困ってしまうと言った後手の77角成に対する「68飛」という妙防。このままでは役に立ちませんが、ここから後手馬が67馬～57馬と動けば…なんと6筋に飛の利きが通って63への紐駒になれるのです！それにさえ気づけば、後手玉を72へ移動して、飛の紐を頼りに63馬までの構図が見えるはず。

それではみなさんの短評をどうぞ。

はなさかしろう 「しばらく動かして、これ本当に可能？と思いましたが、久しぶりに理詰めで解けました。先手の加勢が一手のみなら自陣の飛。更に最終手も馬での歩取りなので後手玉は72です。嘆息の一条条件11手、『初期位置のままの歩取り6回』だと余詰むのも奥床しいですね。」

■ 1条件問題は可能と不可能の境界ぎりぎりを突かないと成立しませんから、一見不可能に見えることも無理からぬことです。「初期位置のままの歩取り6回」だと最後馬と飛成が非限定になるんですよ。

斧間徳子 「『馬の手』がなかなか出てこないのので解きにくかったですが、詰め上がりの形を考えたら解けました。1条件の傑作。」

■ 傑作との評価、ありがとうございます。手なりで進めるとあまり68飛の発想は出てきませんからねえ。

鈴川優希 「馬の単騎詰はありえないので自陣の飛車を出動させる発想ですね。最終手を限定する条件が巧いです。」

■ 10手目と最終手の限定が1条件のままできてよかったです。

KG 「7手目の飛車が王手を防ぎながら、最終手▲6三馬にひもを付ける良い手ですね」

■ 一石二鳥の1手でした。こういう手があると面白い手順になりますよね。

NAO 「馬で歩を取る手が5回もあり、飛車を使うチャンスは1回だけ。」

■逆に言うと1回しか使えないチャンスで何が
できるかという飛車しかないという。

リーグ戦ファン 「これも脳内でほぼ秒殺。た
だし、7手目と9手目の手順前後があるように
思えて、紙と鉛筆を取り出しました。」

■6手目に王手がかかるので7手目飛合に限定
されます。逆王手は脳内で解いているとうっかり
しがちですよ。

チャンプ 「これは良く出来た一条件ですね。
ザ・DD++といった感じの条件設定だと思いま
した(笑)」

■ありがとうございます。しかしチャンプさん
の中で私はどんなイメージになっているやら
(笑)

変寝夢 「三段目を複数回移動するので詰め上
がりは一目。逆王手に注意」

■この詰め上がりが一目とは強い。

たくぼん 「もう一枚の攻め駒を考えれば一挙
に解決しました」

■まさにそこがキーでした。

みや 「タイトルは馬が中心ですが、この詰め
あがりの中心は飛車ですね。先手も攻防に役立
ってるし、後手飛車も退路封鎖に役立ってる。」

■大駒4枚全部が役立っている手順というのは
けっこう珍しいかも。

渡辺 「本門が一番骨でした。後手馬を88角成
から97馬、87馬で逆順だと馬が53のライン
に効いて詰まないに違いない、と考えていたの
が大外れでした。手順は条件とは裏腹に馬を寄
っていく地味なものなのですが。論理的には馬
で歩を取るのには先手は5手目、後手は6手目以
降で同時には達成できない。また、7手目以降
ずっと初期位置のままの歩を取るのも詰みそう
にないので、5 or 6手目に1回、7~11手目に
1回、初期位置のままの歩を馬で取る以外の手
が入るとして考えたまではよかったです。」

■ヤマがはずれるとなかなか正解にたどりつけ
ないんですよ。「7~11手目に1回」で何を
するかがミソでした。

ティエムガンバ 「7手目の6八飛で6三馬を
成立させるところがポイント。そこに気づいたら
あとは一気に解けた問題でした。」

■やっぱりポイントはそこなんですよ。

S.Kimura 「68飛+63馬は気づいていたので
すが、62玉で詰ませようとしていたので悩みま
した。中間ヒントに救われました。」

■62玉だと53馬の時点で王手がかかってしま
うので困ってしまいます。そこから馬が横移動
するなら最終形はコビンからの王手になるのが
自然ということに気づくことができればおそらく
ノーヒントで解けたでしょうね。

井上順一 「王手を防ぐために動かした飛車
を利用して詰む。うまくできている。」

■同じように68飛合を利用する順に63歩成ま
での9手の順もありますね。24-1とか32-2と
か。もっともそちらでは77角成は単なる遊び
手ですが。

宮谷保可楽 「『5手目に馬で歩を取った』で、
一気にゴールまで行ってしまった。68飛がピツ
タリ。」

■そこからゴールまでってそんなに一直線でも
ない気がするんですが(笑)

中村雅哉 「見かける筋だがシンプルな条件が
セールスポイント」

■1条件でまとまったのは幸いでした。

隅の老人B 「馬で5枚? なるほど。最初の
歩取りは角成でした。」

■そのための注意書きです(笑)

占魚亭 「飛車を何筋に振るかが分かれば簡
単。」

■まず飛車を使う発想に至るところが最大の難所だと思うのですが(汗)

はてるま 「77 角成の王手に対して、単に受けるだけでなく、より働いた手を指したい、と考えたらすんなり見えました。スマートにまとまった良問。」

■その嗅覚、さすがベテランですね。

タラパパ 「僅か 11 手しかないのに、『馬で初形位置の歩を 5 枚取る』などと、いかにもあり得そうにない条件の意外性がいいですね。馬単騎詰がないなら、後手の馬も 2 回は動いてくれないと困るわけですが、この詰上がりに結びつける発想が浮かぶかどうか。普段なら上級？」

■中級にするには難しく、上級にするには簡単という中途半端な位置づけな気がします。なので上級にはっきりと難題があって、「今回は高難度です」と宣言できたのは幸いでした。

はらたっと 「歩 5 枚だけならいろいろありそうですが初期配置というのがみそですね。」

■馬で歩 5 枚を取る順はたぶんこの順と 10 手目が 76 馬になっている順だけじゃないかと思いますが、他にありますかね？

正解：21名

井上順一さん S.Kimura さん 斧間徳子さん KG さん 鈴川優希さん 隅の老人Bさん 占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん チャンプさん テイエムガンバさん NAOさん 中村雅哉さん はてるまさん はなさかしろうさん はらたっとさん 変寝夢さん みやさん 宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

4 6-3 上級 はなさかしろうさん作 馬術競技 10 手

「古い棋譜を見つけたよ。バロン西が作ったらしい」

「また適当なことを言って…ほう、10 手で詰みか」

「角成が 2 回あって、馬の手も 2 手あるんだ」
「でも詰め上がりで敵陣にいる駒は馬が 1 枚だけ。慎ましいな」

「そうなんだ。馬術競技みたいだろ？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 10 手で詰んだ
- ・ 角成が 2 回
- ・ 馬の手が 2 回
- ・ 詰め上がりで敵陣にいる駒は馬 1 枚だけ

※先手陣にいる後手駒と後手陣にいる先手駒を、駒の種類を問わず「敵陣にいる駒」としてカウントします。最終条件は馬以外の種類の駒はいかなる駒も敵陣にはならないことを含みますのでご注意ください。

出題のことば (担当 DD++)

10 手にしてはかなり難問。ノーヒントで解けたら相当の実力者です。

追加ヒント：

角成は先手と後手が 1 回ずつですが、先手が成った馬を引く余裕はありません。

陣外の桂と馬で 6 筋玉を合い効かずに討ち取りましょう。

推理将棋 4 6-3 解答 担当 DD++

▲ 7 六歩 ▽ 3 四歩 ▲ 7 七桂 ▽ 同角成 ▲
5 八玉 ▽ 8 七馬 ▲ 2 二角成 ▽ 6 六桂 ▲
6 八玉 ▽ 8 六馬 まで 10 手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	玉	玉	銀	桂	香		一
	飛						馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
	歩	歩	桂						六
歩			歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
			王				飛		八
香		銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

やはりこの問題は苦戦した方が多かったようです。この問題が難問なのは、1つ1つの条件がどうとでも達成できそうな条件であることに加え、3つのうち2つの条件だけを満たす紛れがかなりの数存在すること。手当たり次第に動かして、おいしい順にハマり続けた方は多いのではないのでしょうか。しかも正解は合い効かずなのでからノーヒント状態で直感で正解にたどり着くのはなかなか困難。

解図手順としては、まずは角成2回と馬の手2回から考えてみましょう。仮に後手が2枚馬で攻めるとすると、当然先手は馬の手を指せないで、後手が「角道をあける、取った角を打つ、角成2回、馬の手2回」を全て指す必要があります。しかし、後手番は5回しか回ってこないでこれは不可能。つまり角成は先手と後手が1回ずつということが分かります。

次に考えるのは中級と同じく、2枚目の攻め駒は何かということ。3つめの条件から、この駒は陣外からのサポートができる駒でなくてはなりません。となると候補はやはり飛び道具ですが、飛香は先手歩が邪魔になるのでさすがに陣外からのサポートは困難。角も先手の角成を待ってそれを取って打ってでは手数がかかりすぎます。となれば残った桂を使うのが最有力候補ということになります。すなわち序の4手は「76歩、34歩、77桂、同角成」。

ここから先手は角を成らなければいけませんが、その後馬を後手陣外に持ち出そうとすると、5

手目から「王手対処、馬移動、角成、何か、馬引き、トドメ」といった手順になるため、先手が詰み形を作るための手が全く指せず、10手で詰みには届きません。つまり、先手馬はどうしても後手陣に残ってしまうのです。となると3つめの条件を満たすためには、後手は馬も陣外に引く必要が生じます。桂も馬も先手陣外にいるとはいえこの条件で先手玉が中段にあがることは不可能ですから、合い効かずでどうにかするしかありません。ここまでは2回のヒントがあればショートカットできる内容。

馬と桂を使った合い効かずにの形としては、19-2でも使われている「68玉に対し66桂+86(95)馬(角)」というそれなりに知られた形があります。これを思いつけるかどうかがこの問題最後の大きな鍵で、短評を見る限りここでつまづいた方が多数だった模様。

この形で詰ますには89桂以外に88角と87歩も処理する必要があります。つまり後手馬は87で歩を取ってから86へ移動。また先手は桂を打たれる前に22角成(11では合駒を入手してしまい、33では王手してしまう)として、その後の桂打ちで利きを遮ってもらう形になります。ここまでわかればあとはどの順番で実行すればちゃんと手順が成立するかを考えるだけ。

一見無駄そうな58玉やいづどこに行ってもよさそうな22角成が含まれているこの手順がこの3条件で完全限定されており、また66桂のような一石二鳥の妙手も含まれ、非常に洗練されたすばらしい一局でした。

それではみなさんの短評をどうぞ。

はなさかしろう 「この問題は19-2の渡辺さんの9手問題にすっかり感心したのが出発点でした。さらに元々は例の6手無駄合い。短手数でシンプルな詰み形に惹かれてアレンジしました。厄介な条件ですが先後各々の角成と一方の馬の引揚げが必須、そしてポニーもお忘れなく。」

■6手無駄合いは「76歩、34歩、68玉、88角成、58金右、95角」ですね。同じラインの合い効かずとはいえ、58や78の塞ぎ方が違うのでもはや別手順といってもよさそうなものですが。

斧間徳子 「これは難解作！ 条件を見て、『敵陣にいる馬』は先手の馬だろうと予想したのは当たっていたのですが、この詰め上り（初見でした）がなかなか思いつかずに苦労しました。一旦 58 が上がってから 68 に行く玉の動きや、22 角成が巧みに限定されていることに感心しました。」

■全く、うまく作られたものです。

鈴川優希 「この問題にどれだけ悩まされたことか……。はじめは6段目で詰まそうとしてうまくいかず、よく考えてみると先手の1～5手の手順を限定される条件がないので、初手は飛車の横移動だと決めて泥沼。また、先手の角成の位置が2二と1一で限定は難しいだろうということで、9筋からの角の出動まで考える始末。7七桂、同角成の筋もちろん読んだのですが、5六に桂を打っての5八での詰みしか見えませんでした。先手のやらなければいけないことがたくさんあるのに、2手かけて玉を6筋に移動させるのはまさに盲点。短手数の際作といえませぬ。ふう、疲れた……。」

■よくこの問題をトライアンドエラーで解けたものです。私なら絶対途中で挫折します（笑）

KG 「う～む、この詰み形は思いつきませんでした。敵陣にいる馬が先手の駒だった場合、▲2二角成と香を取らずに後手が離れた所から馬で王手し合駒効かずにするか、▲1一角成と香を取ってその香を打って自玉の逃げ道を塞ぐかのどちらかだろうとは考えていましたが、△6六桂が玉の逃げ道を塞ぎながら2二馬の効きを遮るととても素晴らしい手ですね！」

■66桂は妙手と呼ぶにふさわしい1手でした。

NAO 「4手目までは見えていても、58玉が無駄に見えるので、68玉は気づかない。難しいけど、実にすっきりした詰上がり的一局です。」

■濃厚な手順とさっぱりした詰上がりのギャップが爽快さを生んでいるのかも。

リーグ戦ファン 「初めてヒントを見て解きました・・・4手目に77桂を取る筋は早くに気付いていたのですが、▲68玉▽86馬だと77の地

点に先手の馬か桂が利くはずと思い込んでいて、完全に盲点となっていました。この問題は惜しくも足りない筋が多く、本当に楽しませていただきました。心地よい悔しさです。」

■77 といえば7段目で二番目に守りの堅いところですからねえ。それにしてもこの問題の嬉しい手順の多さは本当に尋常じゃないです。

チャンプ 「これだけ解けずにならずと解答が送られませんでした。(締め切り直前のヒントを見ても解くまでに30分以上掛かりました)10手の中に手順の美が凝縮されてますね。芸術点の高い超難問。」

■この問題をこのヒントまでで30分で解ければ十分だと思うのは私だけでしょうか（笑）

たくぼん 「最終ヒントの前まで散々考えたけど分からず。最終ヒントをもらってもなかなか苦労しました。これはノーヒントでは解けない。先手の角成の位置とタイミングが絶妙です」

■この22角成の位置とタイミングの限定は私も神がかり的と思いました。

みや 「3は解けませんでした。桂馬と馬・・・??？」

■桂馬と馬で実はこんな詰め上がりができるのです。角打ちまでの9手でもできますね。

渡辺 「この形は沢山作っているのだから確かにかえやすかったです。

・11だと合駒可能、33だと王手になるので22角成が決定

・66桂が77馬の移動合の防ぎになっているあたりも私好みです。」

■この詰み形は「四大合い効かず」を選ぶならまず選ばれそうな形ですしね。

ティエムガンバ 「じゃじゃ馬より桂『馬』に翻弄された一局。」

■実はじゃじゃ馬と言ったのはこっそりこの桂馬も含めていたり。

S.Kimura 「敵陣にいるのは後手の馬だとばかり思い込んでいたため、締切前ヒントに『合い効かず』と明確に書かれていなければ解けませんでした。原理的には、6手詰+4手なのでしようが、2手かけて68に玉が動くこと、22角成が限定になっていること、66桂が馬の効きを遮断していることに、とても感動しました。素晴らしい問題を解くことができ良かったです。」

■実はヒントに合い効かずまで書くかどうか迷っていたのですが、そのおかげで感動していただけたようで、書いてよかったなと思います。

井上順一 「ヒントから後手の手は、『34歩・角成・馬・馬・桂打』と想定できたので何とか解けた。最後の条件がないと、77桂+69馬みたいな詰みもある。」

■最後の条件がなければ桂以外を使う順も山のようにありますね。

宮谷保可楽 「最後のヒントをもらってから、この形で詰んでいることを認識するまで、丸2日…。」

■それなりに出てくる詰み形なので、知識として覚えておくといいかもしれません。

中村雅哉 「難問でした。」

■本当に。私も解図検討に苦労しました。

隅の老人B 「猛暑、眠られず、消灯後、布団で考える。たったの10手が解けません。残念無念、作者の西さんに金メダルを進呈。」

■10手どころか9手でも本気で難しい問題はこれより難しいです。実際、投稿されてる9手問題でも検討ができずに出題できないでいる難問があったり。

占魚亭 「難しい。ギリギリまで考えましたが、分かりません。」

■こんな手順でした。この問題は本当に難問だと思います。

はてるま 「これはたしかに難しかった。まさか敵陣の馬が先手とは思いません。また角成が22限定なのもうまい。条件が簡素なのに手順は独創的。こういう短編がまだ作れるとは驚きです。傑作でしょう。」

■10手はまだ未開拓な部分もかなりありますから、まだまだ独創性のある作品は作れると思います。

タラパパ 「作意を知っているので楽をしましたが、親切なヒントがあっても簡単には解かせない難問。香を取らない寸止めの22角成が、66桂により自駒の利きを消させる、ちょっとみかけない目的の妙手でした。選題できずにいた前担当が言うのも変ですが、『角成が2回』『馬の手が2回』と韻を踏んだ条件もよく、10手屈指の傑作だと思います。」

■22角成は手順的にも妙手ですが、これがこの条件で限定されることにもうまみがあります。

正解：16名

井上順一さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん
KGさん 鈴川優希さん たくぼんさん タラ
パパさん チャンプさん テイエムガンバさん
NAOさん 中村雅哉さん はてるまさん
はなさかしろうさん 宮谷保可楽さん リーグ
戦ファンさん 渡辺さん

総評

はなさかしろう 「今月はちょっと有利な位置から出走できますので急いで回答してみました。46-3は古いながら自作では今でも一番好きな問題。採用ありがとうございます。」

■ひとまず1人速攻解答があったおかげで少し安心できました、ありがとうございます。これからも問題投稿お待ちしておりますね。

斧間徳子 「今月の中上級は骨のある作品でしたが、どちらもレベルが高く、解き甲斐があり

ました。」

■解き甲斐はある程度難しくないと出てきませんから、やっぱりこういった難問も時々混ぜないといけませんね。

鈴川優希 「46-3は追加ヒントさままでした。いや難しかったです。次回はもうすこしお手柔らかにお願いします。(笑)」

■今回レベルの難問はさすがにまたしばらく封印かと思います(笑)

KG 「上級は最終ヒントでようやく解くことが出来ました。推理将棋でここまで悩んだのは初めてです。難問でした。それにしても初級は馬+馬、中級は馬+飛、上級は馬+桂と全て違うパターンでうまく問題を選んでますね。練習問題も含めて素晴らしいと思います。来月は最終ヒントなしで解けたらいいな。」

■終局図に馬2枚の問題だけでこうきれいにレパートリーがそろったのは全くの偶然でした。こういうのを仕組む楽しみは担当者特権です。

リーグ戦ファン 「今回の出題、それぞれにつくづく作者の方の才能を感じます。1は、詰み形を条件でほぼ限定して、残るは後手の囲いを考えるだけ、という、よくあるパターン。それでも後手順が限定されるのは、偶然ではなくて、逆算で作られてらっしゃるのかな、と。2も同様に、こんなスッキリ条件で手順前後が回避されているのは、『運がよかった』のではなくて、それだけ作題のストックが多くて、その中からスッキリ条件を選ばれておいでなのですよ。3はもう、キワドク逃れている筋が山ほど。出題に至るまでの検討の深さを実感させられます。」

■作品の作り方は人それぞれですが、1はおそらくその通りだと思います。2は最初に手順前後や非限定の少ない特徴的な手順を見つけておいて、それをきっちり縛れる1条件をトライアンドエラーで探して条件付けしました。3はどうやって作ったのか私も気になります。どうなんでしょう、はなさかしろうさん？

井上順一 「こちらへの解答は初めてですが、

いろいろと考えさせられるところがあって面白かったです。今回はたまたま3題とも解けましたが(たぶん)、過去の出題を見るとヒントを見ても全然わからないものもあり、奥が深そうです。」

■初解答ありがとうございました。今回の難題が解けたのであれば次回以降もほぼ全題解答できるかと思っておりますので、解答お待ちしております。

隅の老人B 「本日、7月20日、名古屋は台風の影響で曇り空の蒸し暑い一日でした。夜になっても、やはり暑い。今回の出題が未だ1題解けてないのを思い出して、また挑戦。やっぱり解けず、解答発表を楽しみに待つか、です。」

■ということで、こんな解答でしたがいかがでしたか？

タラパパ 「前担当として難問2問の解を知っていたわけですが、果たして知らずに解けていたかどうか・・・自信なし。」

■タラパパさんは私より解図力は上なのでですから、私があんまりできなかったということはタラパパさんにもきつと解けたでしょう。

推理将棋第46回出題全解答者： 21名

井上順一さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん
KGさん 鈴川優希さん 隅の老人Bさん
占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん
チャンプさん テイエムガンバさん NAOさん
中村雅哉さん はてるまさん はなさかし
ろうさん はらたっとさん 変寝夢さん みや
さん 宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん
渡辺さん

待望の「四百人一局集」が出版された。入手後まずしたのは、フェアリー詰将棋を掲げている人のカウント。収録作家 416 人中 12 人だった。306 人中 4 人の「三百人一局集」に比べれば増えてはきているが、まだ少ないという印象。2006 年に、たくぼんさんに丸投げしたままの「フェアリー百人一局集」を再考するしかない、と思った次第。たくぼんさんは「森茂作品集」で忙しくなるはずなので。

1. 百人は妥当か？ ～ フェアリー濃度

「四百人一局集」などのフェアリー掲載作の割合を表にしてみた。

表 1. 一局集のフェアリー濃度

掲載作数	三百人 一局集	四百人 一局集	五百人 一局集
フェアリー	4	12	32
全体	306	416	500
フェアリー濃度	1.3%	2.9%	6.4%

「五百人一局集」の数字は、「三百人一局集」から「四百人一局集」への増加率を、「四百人一局集」から「五百人一局集」への増加率としてそのまま適用した一次想定値。百人には遠く及ばない。伝統詰将棋でさえ百人単位の集成であるのに、フェアリーで百人集めるといのは本当に妥当なのか。

改めて、世の中のフェアリー濃度を求めてみよう。元にするは、x4cc（詰将棋の同一作チェック）で使っている 2011 年 8 月 1 日現在の詰将棋データベースとフェアリーデータベース。これらは、世の中の詰将棋をある程度網羅的に収集してあるので、それなりに意味のある数字が得られるはずだ。

表 2. データベースのフェアリー濃度

データベース	作家数	作品数
詰将棋 DB	7,223	187,860
フェアリーDB	493	13,115
合計	7,223	200,975
フェアリー濃度	6.8%	6.5%

※ フェアリー詰将棋作家は伝統詰将棋作家に

含まれていると想定

作家数も作品数もフェアリー濃度は同じような値となった。なぜか「五百人一局集」の一次想定値とも近い。

最近の傾向として、伝統詰将棋とフェアリー詰将棋の双方を出題している詰パラの最新号（2011 年 8 月号）の定例コーナーでの出題数を見てみると、

表 3. 詰パラのフェアリー濃度

コーナー	出題数
表紙詰将棋	1
ヨチヨチルーム	10
ヤング・デ・詰将棋	4
ヤング・デ・詰将棋（解付き）	6
保育園	5
幼稚園	5
小学校	5
中学校	5
高等学校	5
短期大学	5
大学	3
大学院	2
詰将棋デパート	5
フェアリーランド	5
合計	66
フェアリー濃度	7.6%

これまた同等の濃度になっている。フェアリー詰将棋の歴史が浅いことを考えると、最近の濃度はもう少し大きな値になっていてしかるべきだと思うのだが、現実はそのようではないようだ。

ということで、世の中のフェアリー濃度は最良目を入れて前述の数字の中で最も大きな 7.6%としておくことにする。

2. 百人は妥当か？ ～ 現実的な数字

フェアリー濃度 7.6%とは、フェアリー作家百人を収録するには「千三百人一局集」という容量が必要になるということだ。これはどう考えても非常識的である。

何年後になるかわからない「五百人一局集」でさえ、38 人のフェアリー作家収録が現時点での最低限の目標（誰の？）となるが、やはりこの程度が現実的なのだろうと思う。しかし 38 という数字はなんととも中途半端。「三百人一局

集」に影響を受けたと言われている将棋世界付録の「39 題」シリーズの方がまだしも、という数字だ。ただ、39 は、攻方王を除いた一組の駒数で、いかにも伝統詰将棋の香りが漂う。フェアリー的には攻方王も普通に加えた最低限の基本駒セットの 40 という数字を採るべきだろう。しかも今年は、「ばか詰教室」開設四十周年でもある。偶然にしてはでき過ぎの符合である。

かくして、数字は決まった。

フェアリー詰将棋作家名鑑「四十人一局集」

3. 横道 ～ 副題

攻方王を例外扱いしないという意味で 40 という数字を採用したことから、勝手に副題も決めてしまっている。まったくの個人的な趣味からなので、由来は聞かないで欲しい。ただ、つい最近購入した、T. Gene David 著「Tsume Puzzles for Japanese Chess: Introduction to Shogi Mating Riddles」に大いに触発されたことだけは記しておこう。

フェアリー詰将棋作家名鑑「四十人一局集」
～ The March of The Black King

4. 横道 ～ 表紙、あるいはカバー

「新約・神話大全」の表紙には筒井香織さんのイラストを使わせてもらった。調子に乗って、「四十人一局集」では、大山八画伯の抽象画を使わせてもらえないか、聞いてみようと思う。

5. どうやって 40 人を選ぶのか

40 人のフェアリー作家をどうやって選ぶのか。広く知見を集めるためには、フェアリー詰将棋に対する深い愛情を長い間持ち続けている人たちの合議に基づくのがいいだろう。

フェアリーデータベースをダウンロードしたことはその指標のひとつとなるだろうと思い、一覧を眺めてみた。そして、これは、と思う人をピックアップしてみた。

・S 川さん、H 本さん、K 藤さん、Y 田さん

四人でも少な過ぎることはないが、もう少し人数が多い方が何かと安心である。ということで、フェアリー関連の書き物をしたことがある人を私の記憶の中から同人数ピックアップ。

・K 林さん、H 部さん、N 島さん、Y 永さん

いやあ、これなら安心、錚々たるメンバーである。私より若い人は、H 本さんだけになってしまった。まあいいか。

6. 工程表

会社で日常的に使っている「工程」などという一般的ではない言葉を、テレビのニュースで聞くとなんだか落ち着かない。

それはさておき、フェアリー詰将棋作家名鑑「四十人一局集」への長い道のりを描いてみた。まだまだ構想（妄想）のレベルではあるが。

ステップ 1（～2011 年 10 月）：選定委員選定
太郎から打診。「ばか詰教室」開設四十周年がメド。心当たりのある方は、是非引き受けてください。

ステップ 2（～2012 年 3 月）：作家選定

ステップ 3（～2012 年 7 月）：作品選定
松本大会の前日、岡谷！に集合して、収録作家、収録作品を最終決定したい。（ああ、また K 林さんの奥さんには迷惑かけるのかなあ。）

ステップ 4（～2012 年 12 月）：執筆
選定委員には執筆者も兼ねて欲しい。

ステップ 5（～2013 年 3 月）：製本
名古屋（地区）大会で対面販売。

7. 最後に

本稿は単なる私の決意表明。なので、数字のマジックや個人的な趣味など、細かなところは色々あると思うが、実現可能性を高めるためのご意見は大歓迎。どうぞ、よろしくお願ひします。岡谷の熱い夜を実現しましょう！

8. おまけ（ちょっとだけ調べてみた） OKAYA CENTRAL HOTEL

岡谷駅徒歩 0 分。土日は一泊 5,250 円。チェックイン 15 時、チェックアウト 10 時。最上階には会議等にも使える多目的ルームもある。

岡谷～松本

JR 中央本線で 7 駅、約 30 分、400 円。

以上

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

9月15日(木)

- 第34回 WFP 作品展 B コース
- 第35回 WFP 作品展
- Fairy of the Forest #28

10月16日(日)

- 第11回詰四会フェアリー作品展

投稿募集

第2回フェアリー短編コンクール

投稿締切：2011年12月4日
 手数・ルール：6手以内のフェアリー作品。
 出品数：1人2作以内。

詳細は P23 をご覧下さい。

【あとがき】

ちょっとスペースが空きましたので、この間の詰四会で並べた短編ばか詰を載せておきます。頭の体操にどうぞ (作者：たくぼん)

ばか詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		飛	角						四
									五
	飛								六
					王				七
角									八
									九

持駒 なし

ばか詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
		飛				飛			五
			王						六
						角			七
				角					八
									九

持駒 なし

ばか詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						飛			三
									四
		飛							五
					王				六
						角	角		七
									八
									九

持駒 なし

2011年 第38号

Web Fairy Paradise

非売品
 平成二十三年八月号
 平成二十三年八月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市
 発行兼編集人 須川卓二
 発行所 Web Fairy Paradise 編集部
 問合先
 須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp